郷土愛を育む道徳学習プログラム№２（対象：小学５年生）

呉のよさに気づく

呉を愛する心を持つ

呉への誇りを持つ

**郷土を愛し，進んで郷土のよさを伝えようとする態度を育む道徳学習プログラム**

**【美術作品ふれあい事業及びふるさと文化探訪事業】**

１　事前の取組

**◆ 学習場面** 社会科／図画工作科／総合的な学習の時間／特別活動　等

**◆　内容等**

（４年生）呉市立美術館での絵画鑑賞及び入船山記念館の見学等

　　　　　・　学芸員による鑑賞マナー及び絵画等の説明，美術館作成資料の活用

　　　　　・　資料「入船山記念館の案内」（呉観光ボランティア作成）の活用

（５年生）大和ミュージアム見学

　　　　　・　ボランティアガイドによる説明を受けながらの見学

　　　　　・　ワークシート（大和ミュージアム作成）の活用

※　「日本遺産学習ノート」の該当ページも活用できる。



**「歴史の見える丘から見えたもの」**

２　道徳科

**◆ 主題名**　　　郷土を見つめ愛する心　Ｃ【伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度】

**◆　ねらい**　　　夢中になって市政だよりを探して読む充の気持ちを考えることを通して，受け継がれている呉市の伝統や文化，そのよさに気付き，更に発展させていこうとする道徳的態度を育てる。

**◆　教材名**　　　「歴史の見える丘から見えたもの」（自作教材）

**◆　学習指導過程（例）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 学習活動 | 主な発問と予想される児童の心の動き（○：主な発問，◎：中心発問，●：補助発問） | 指導上の留意点（☆評価の観点） |
| 導入 | １　ふるさと文化探訪事業について振り返りながら，課題意識を持つ。 | ○　美術館や入船山記念館，大和ミュージアムの見学について思い出してみましょう。●　みなさんは，それぞれの場所について説明したり，よさを伝えたりできそうですか。 | ○　写真を提示したりしながら，感想や気づき等を聞く。○　補助発問を投げかけ，課題意識を持たせる。 |
| 展開 | ２　資料「歴史の見える丘から見えたもの」を読んで話し合う。 | ○　いとこの麻衣さんから，日本遺産を案内してほしいと電話があった時，ぼくはどんな気持ちになったでしょう。・　呉のことをたくさん知ってほしいな。・　ぼくが知っていることを，早く教えてあげたい。・　呉のことをたくさん話して，麻衣さんに喜んでほしい。 | ○　「日本遺産」の写真を提示しながら範読することにより，資料の内容を把握しやすくする。 |
|  | ○　充は，なぜもやもやした気持ちになったのでしょう。・　麻衣さんに呉のことをたくさん教えてあげたいと思っていたのに，麻衣さんの方がよく知っていたからショックだった。・　逆に麻衣さんに詳しく教えられたことで，がっかりした。・　クラスのみんなからは，自分は日本遺産について何でも知っていると思われていたのに，恥ずかしい。 |  |
|  | ◎　夢中になって「市政だより」を探しながら読んでいた充は，どんなことを考えていたのでしょう。・　呉のことを知っているつもりでいたけど，まだまだ知らないことがたくさんあるな。・　もっと呉のことを知りたいな。・　もっとよく知らないと，パンフレットはできないな。　　 | ○　実際に「市政だより」を紹介したり，授業後に関連ページを掲示したりしてもよい。（呉市ＨＰにもデータあり） |
|  | ●　呉の港に沈む夕日が，何だかいつもよりも色鮮やかで美しく見えたのは，なぜでしょう。●　充はなぜ，改めて「歴史の見える丘」に行ってみたいと思ったのでしょう。●「歴史の見える丘から見えたもの」とは何でしょう。 | ○　左記のような補助発問を通して，深く考えさせる。 |
| 終末 | ３　本時のまとめをする。 | ○　今日の授業を振り返って，考えたこと感じたこと，「ふるさと（呉）」のために，今の自分にできることをワークシートに書きましょう。 | ○　自分のこれまでの生活と重ね，授業を通して，「ふるさと（呉）」について考え，交流する。☆　呉の伝統や文化，よさに気づき，自分との関わりで捉え，進んで呉のよさを伝えようとしている。（ワークシート） |

**【日本遺産についてまとめたり伝えたりする活動】**

３　事後の取組

**◆ 学習場面**　　国語科／総合的な学習の時間／長期休業中の課題　等

**◆　内容（例）**

道徳科「歴史の見える丘から見えたもの」で学んだことについて想起しながら，以下のような活動に取り組む。

（例１）呉市の日本遺産の構成文化財を一つ選び，その文化財の説明や，構成文化財を選んだ理由，魅力などを，文章でまとめる。

（例２）呉市の日本遺産について調べたことをもとに，パンフレット（リーフレット）を作成する。作成した紹介文やパンフレットを使って，他学年に紹介したり，校内に掲示したりする。

また，６年生の修学旅行で旅館の方やバスガイドに紹介する等の活用も考えられる。